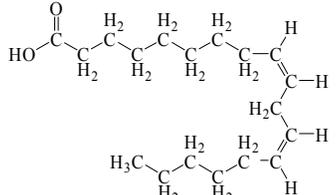
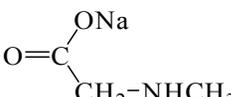
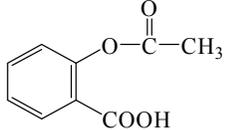
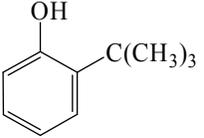
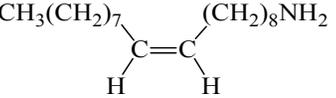
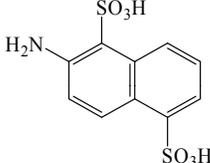
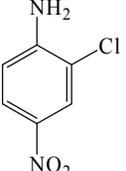
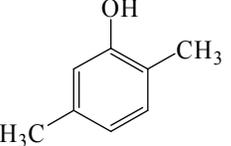
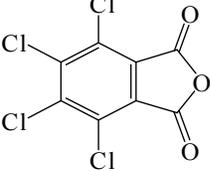
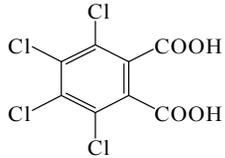
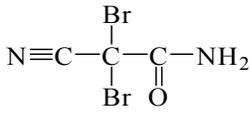
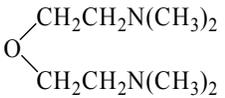
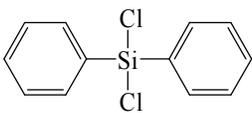
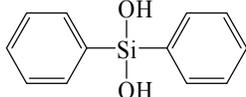
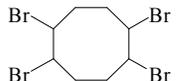
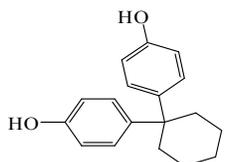
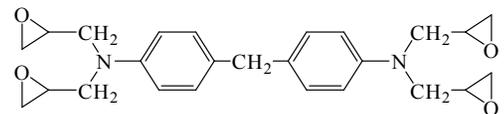


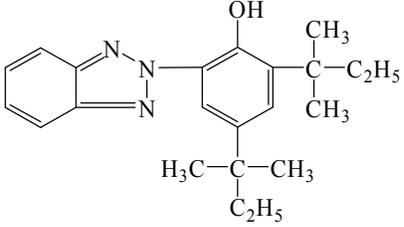
平成19年7月 既存化学物質点検（分解・蓄積）結果資料 〈第66回審査部会〉

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1258E	1-ペンタノール (71-41-0) 2-0217 <chem>CH3(CH2)4OH</chem>	BOD : 87, 95, 94 (92) TOC : 100, 98, 99 (99) G C : 100, 100, 100 (100)	-	-	良分解性	なし	1
1779	(Z, Z)-9, 12-オクタデカジエン酸 (60-33-3) 2-0609 	BOD : 84, 79, 78 (80) G C : 100, 100, 100 (100)	-	-	良分解性	なし	3
1780	N-メチルアミノ酢酸ナトリウム (4316-73-8) 2-1206 	BOD : 83, 64, 69 (72)*1 TOC : 97, 84, 86 (89) HPLC : 100, 100, 100 (100)	-	-	良分解性	なし	5
1783	2-ブテン-1, 4-ジオール (110-64-5) 9-1161 <chem>HO-CH2-CH=CH-CH2-OH</chem>	BOD : 65, 55, 52 (57) TOC : 85, 84, 71 (80) G C : 86, 84, 71 (80) 逆転条件 (参考データ) TOC : 98, 97, 100 (99) G C : 100, 100, 100 (100)	-	-	良分解性	なし	7
1784	o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2) 3-1652 	BOD : 88, 83, 88 (86) TOC : 99, 99, 94 (98) HPLC : 100, 100, 100 (100)	-	-	良分解性	なし	9

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
81C	<i>o</i> -tert-ブチルフェノール (88-18-6) 3-0503 	BOD : -3, -4, -4 (0)*2 TOC : 35, 40, 25 (33) HPLC: 32, 39, 23 (31)	3.74*4 (pH4.0) 3.42*3		難分解性	濃縮度試験	11
762D	(Z)-9-オクタデセン-1-アミン (112-90-3) 2-0133 	BOD : -3, -5, -5 (0)*2 G C : 7, 3, 7 (6)	7.50*3		難分解性	濃縮度試験	13
1782	2-アミノ-1,5-ナフタレンジスルホン酸 (117-62-4) 4-0501 	BOD : -1, 4, -1 (1) TOC : 2, 8, 5 (5) HPLC: -1, -1, -1 (0)	-1.85*3		難分解性	濃縮度試験	15
246B	2-クロロ-4-ニトロアニリン (121-87-9) 3-0407 	BOD : -4, -5, -3 (0)*2 TOC : 4, 3, 3 (3) HPLC: 1, 0, 1 (1)*2	1.9 (pH8.0) (HPLC法) 2.12*3	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性で はない	なし	17
1227D	2,5-キシレンール (95-87-4) 3-0521 	審議済 (難分解性) (平成17年11月18日) BOD : 0, -1, 0 (0) TOC : 2, 3, 1 (2) HPLC: 3, 2, 1 (2)	2.6 (pH3.0) (HPLC法) 2.62*3	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	20
1476	四塩化無水フタル酸 (117-08-8) 3-1423 	審議済 (難分解性) (平成14年3月22日) BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : 0, 0, 1 (0) HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は変化して、3,4,5,6-テ トラクロロフタル酸を生成し、残 留した。	4.65*3	テトラクロロフタル酸から類 推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	23

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1476変	テトラクロロフタル酸 (632-58-6) 3-0062 	-	3.2 (pH1.0) (HPLC法) 3.65*3	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	25
1587	2-シアノ-2,2-ジブromoアセトアミド (10222-01-2) 2-2795 	審議済 (難分解性) (平成14年1月29日) BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : 20, 14, 10 (15) HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は試験液中で消失し、臭化物イオンが20~2%、アンモニア態窒素が50~53%生成し、残留した。 変化物 (LC-MSによる推定) として、2-ブromopropanアミド、2,2-ジブromopropanアミド、2-ブromo-2-シアノアセトアミド及び2,2-ジブromoアセトアミドが生成し、残留した。	0.5 (pH7.0) (HPLC法) 1.01*3	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	28
1628	ビス(2-ジメチルアミノエチル)エーテル (3033-62-3) 2-0390 	BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : 2, 3, 4 (3) LC-MS: 6, 7, 0 (4)	1.1 (pH11.0) (HPLC法) -0.54*3	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	31
1640	ジクロロジフェニルシラン (80-10-4) 3-2634 	審議済 (難分解性) (平成17年9月30日) BOD : 0, -1, 0 (0) G C : 100, 100, 100 (100) 被験物質は試験液中で加水分解し、ジフェニルシランジオール(3-2638, logkow=2.03)を99~107%生成し、残留した。	5.06*3	ジフェニルシランジオールからの類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	34

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1640変	ジフェニルシランジオール (947-42-2) 3-2638 	—	2.0 (HPLC法) 2.03 ^{*3}	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	36
1715	1, 2, 5, 6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8) 3-2254 	審議済 (難分解性) (平成17年9月30日) BOD : -16, 2, -10 (1) ^{*2} G C : 1, 0, 1 (1)	5.24 ^{*3}	ピーク1 定常状態における濃縮倍率 1区: 3900倍 2区: 2600倍 ピーク2 定常状態における濃縮倍率 1区: 4700倍 2区: 2800倍 脂質含有率 開始前: 5.07% 終了後: 5.09%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	39
1754	1, 4-ジクロロブタン (110-56-5) 2-0061 $\text{Cl}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Cl}$	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : 7, 12, 3 (7) G C : -1, 0, -1 (0) ^{*2}	2.5 (HPLC法) 2.81 ^{*3}	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	42
1755	1, 1-ビス (4-ヒドロキシフェニル) -シクロヘキサン (843-55-0) 4-0044 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -1, 0, -2 (0) ^{*2} HPLC : 1, 1, 3 (2)	5.00 ^{*3}	定常状態における濃縮倍率 1区: 29倍 ばく露期間における濃縮倍率 2区: <32~42倍 脂質含有率 開始前: 5.4% 終了後: 5.1%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	45
1757	N, N, N', N'-テトラグリシジル-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (28768-32-3) 4-0112 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -8, -10, -10 (0) ^{*2} HPLC : 73, 68, 59 (66)	3.0 (pH7.0) (HPLC法) 2.53 ^{*3}	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	48

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1766	<p>2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ペンチルフェノール (25973-55-1) 5-3604</p> 	<p>審議済 (難分解性) (平成17年11月18日) 試験結果については、企業提供 データのため非公開</p>	7.25*3	<p>試験結果については、企業提供 データのため非公開 判定結果 保留;第3濃度試験指示 (H17年 11月 18日)</p> <p>(第3濃度区試験) 定常状態における濃縮倍率 3区(0.01 μg/L) : 2400倍 脂質含有率 開始前:2.38% 終了後:4.14% (再試験) 定常状態における濃縮倍率 1区(0.1 μg/L) : 940倍 ばく露期間における濃縮倍率 2区(0.01 μg/L) : 620~1800 倍 脂質含有率 開始前:3.75% 終了後:4.62%</p>	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	51

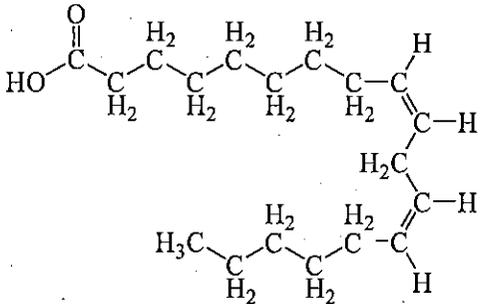
- *1 BODは窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。
- *2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。
- *3 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値
- *4 フラスコ振とう法による予備値

整理番号 K-1258E (NEDO 352, 2-0217)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1-ペンタノール (71-41-0)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 8. 28~18. 11. 28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 CH ₃ (CH ₂) ₄ OH 分子式 C ₅ H ₁₂ O 分子量 88.15	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 87, 95, 94 (92) % 直接 TOC 100, 98, 99 (99) % GC 100, 100, 100 (100) %	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.6% 外観 無色透明液体	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 22g/L(25℃)*2	判定	判定
融点*1 -79℃	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 98% (汚泥+被験物質)系 95% 2. 実施機関 ・ 広栄テクノ株式会社	備考	備考
沸点*1 137.5℃		1-オクタノール/水分係数	
比重*1 d ₄ ²⁰ 0.815			
LD ₅₀			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*3 合成樹脂、添加剤 (樹脂用) 等			
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 10万~100万t未満			
試料 購入先 和光ケミカル			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光ケミカル添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。
*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1258Eの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1-ペンタノール (71-41-0)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{OH}$	2-0217 (K-1258E)	標準(4W) 2006年実施 BOD 87, 95, 94 (92) TOC 100, 98, 99 (99) G C 100, 100, 100 (100)					
1-オクタノール (111-87-5)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{OH}$	2-0217 (K-1258C)	標準(4W) 2002年実施 BOD 89, 90, 88 (89) TOC 99, 99, 99 (99) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (2002)				
2-オクタノール (123-96-6)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{CH}_2\overset{\text{OH}}{\text{C}}\text{HCH}_3$	2-0217 (K-1258B)	標準(2W) 1999年実施 BOD 75, 76, 77 (76) TOC 96, 95, 96 (96) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1999)				
トリデシルアルコール (112-70-9)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{12}\text{OH}$	2-0217 (K-347)	標準(2W) 1978年実施 BOD 77, 123 (100) G C 100, 100 (100)	良分解性 (1978)				
1-ヘキサデカノール (36653-82-4)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{15}\text{OH}$	2-0217 (K-1258D)	標準(4W) 2001年実施 BOD 73, 94, 92 (86) G C 86, 100, 100 (95)	良分解性 (2001)				
1-ヘキサコサノール (506-52-5)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{24}\text{CH}_2\text{OH}$	2-0217 (K-537)	標準(4W) 1982年実施 BOD 72, 76, 76 (75) G C 96, 97, 97 (97)	良分解性 (1982)				

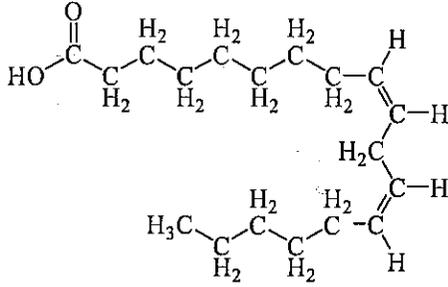
整理番号 K-1779 (NEDO 346, 2-0609)		分解度試験		分解度試験		分解度試験																			
(Z, Z)-9, 12-オクタデカジエン酸 (60-33-3)		事業対象年度 平成18年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日																			
		試験期間 18. 9. 19~18. 11. 24		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .																			
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮																			
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₈ H ₃₂ O ₂ 分子量 280.45		試験濃度		試験濃度		試験濃度																			
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L																			
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L																			
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間																			
		試験結果		試験結果		試験結果																			
純度*1 99.8%		外観 淡黄色透明液体		間接 BOD 84, 79, 78 (80)%		間接																			
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.2%は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 2 mg/L 以下 (25°C)		GC 100, 100, 100 (100)%		直接																			
融点*2 -12°C		審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催																			
沸点*2 230°C (16mmHg)		判定		判定		判定																			
比重*2 d ₄ ²⁰ 0.9007		備考		備考		備考																			
LD ₅₀		1-オクタノール/水分配係数		1. 回収率 (水+被験物質)系 97% (汚泥+被験物質)系 94%		・ (水+被験物質)系において GC 分析で被験物質は消失し、変化物ピークが 13 本検出され、その内の 7 本は被験物質より炭素鎖の短い飽和脂肪酸 (C ₄ , C ₆ , C ₇ , C ₈ , C ₁₀ , C ₁₂ , C ₁₆) の標品の保持時間と一致した。また、各ピークの検出率は 1%未満であった。試験液の前処理において、減圧乾固を行っていることから炭素数の小さい脂肪酸は揮発し、物質収支はとれないと考えられる。																			
IRチャートの有無 (有) ・ 無		安定性		2. 実施機関 ・ 株式会社 JCL バイオアッセイ		・ 28 日後の DOC 検出結果																			
用途*3 繊維用添加剤等				3. 特記事項 ・ (汚泥+被験物質)系の GC クロマトグラム上には変化物ピークは認められなかった。		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(水+被験物質)系</th> <th colspan="3">(汚泥+被験物質)系</th> <th>理論量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量(mgC)</td> <td>12.4</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>1.2</td> <td>23.1</td> </tr> <tr> <td>率(%)</td> <td>53</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系			理論量	量(mgC)	12.4	1.0	0.9	1.2	23.1	率(%)	53	4	4	5	-
	(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系			理論量																				
量(mgC)	12.4	1.0	0.9	1.2	23.1																				
率(%)	53	4	4	5	-																				
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満																									
試料 購入先 和光純薬工業																									
経済産業公報発表年月日 年 月 日																									

*1 和光純薬工業添付資料による。

*2 The Merck Index(13th edition)による。

*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1779の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
22-トリコセン酸 (65119-95-1)	$\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2)_{20}\text{COOH}$	2-0609 (K-1094)	標準(4W) 1994年実施 BOD 96, 91, 91 (93) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1994)				
オレイン酸 (112-80-1)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{CH}=\text{CH}(\text{CH}_2)_7\text{COOH}$	2-0975 (K-1113)	標準(4W) 1993年実施 BOD 90, 72, 72 (78) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1993)				
(Z, Z)-9, 12- オクタデカジエン酸 (60-33-3)		2-0609 (K-1779)	標準(4W) 2006年実施 BOD 84, 79, 78 (80) G C 100, 100, 100 (100)					

整理番号 K-1780 (NEDO 347, 2-1206)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																				
N-メチルアミノ酢酸ナトリウム (4316-73-8)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																				
	試験期間 18.11.20~19.2.23	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																				
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																				
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{ONa} \\ \\ \text{O}=\text{C} \\ \\ \text{CH}_2-\text{NHCH}_3 \end{array}$ 分子式 C ₃ H ₆ NNaO ₂ 分子量 111.08	試験濃度	試験濃度	試験濃度																				
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																				
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																				
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																				
	試験結果	試験結果	試験結果																				
純度*1 43.1%(ケルダール法)	間接	間接	間接																				
外観 薄い黄色の液体 (供試試料として)	直接	直接	直接																				
不純物*1 (物質名, 含有率)	BOD 83, 64, 69 (72)%																						
水 56.9%	TOC 97, 84, 86 (89)%																						
	HPLC 100, 100, 100 (100)%																						
融点 測定不可	審査部会 第66回	審査部会 第 回	審査部会 第 回																				
沸点 測定不可	19年 7月 27日開催	年 月 日開催	年 月 日開催																				
密度 測定不可	判定	判定	判定																				
LD50	備考	3. 特記事項 ・窒素三態 (アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素) の分析を実施した。その結果、(汚泥+被験物質)系の平均生成率はアンモニア態窒素が40%、亜硝酸態窒素が40%、硝酸態窒素が1%であった。 ・TOD は窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。																					
IRチャートの有無 (有) ・ 無	1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%																						
用途*3 洗剤等	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構																						
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未滿	※試験液を直接分析機器に導入。																						
試料 購入先 東京化成工業																							
経済産業公報発表年月日 年 月 日		・窒素三態別のBOD分解度(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NH₃</td> <td>131</td> <td>102</td> <td>110</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>NO₂</td> <td>83</td> <td>64</td> <td>69</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>NO₃</td> <td>75</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>			1	2	3	平均	NH ₃	131	102	110	114	NO ₂	83	64	69	72	NO ₃	75	58	63	65
	1	2	3	平均																			
NH ₃	131	102	110	114																			
NO ₂	83	64	69	72																			
NO ₃	75	58	63	65																			

*1 東京化成工業添付資料による。

*2 供試試料の成分組成より。

*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1780の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
アミノ酢酸 (56-40-6)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{O}=\text{C} \\ \\ \text{CH}_2-\text{NH}_2 \end{array}$	9-0077 (K-1163)	標準(2W) 1993年実施 BOD 76, 78, 82 (79) TOC 96, 99, 100 (98) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (1993)				
N-メチルアミノ 酢酸ナトリウム (4316-73-8)	$\begin{array}{c} \text{ONa} \\ \\ \text{O}=\text{C} \\ \\ \text{CH}_2-\text{NHCH}_3 \end{array}$	2-1206 (K-1780)	標準(4W) 2007年実施 BOD 83, 64, 69 (72)* TOC 97, 84, 86 (89) HPLC 100, 100, 100(100)					

* TODは窒素の残留形態を亜硝酸として算出した。

整理番号 K-1783 (NEDO 355, 9-1161)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																			
2-ブテン-1, 4-ジオール (110-64-5)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日																			
	試験期間 18. 9. 4~19. 2. 6	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																			
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																			
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 HO-CH ₂ -CH=CH-CH ₂ -OH 分子式 C ₄ H ₈ O ₂ 分子量 88.11	試験濃度	試験濃度	試験濃度																			
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																			
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																			
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																			
	試験結果 間接 BOD 65, 55, 52 (57)% 直接 TOC 85, 84, 71 (80)% GC 86, 84, 71 (80)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接																			
純度*1 99.5% 外観 無色透明液体	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																			
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.5%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上(25℃)	判定	判定																			
融点*2 7℃	1-オクタノール/水分配係数	備考	備考																			
沸点*2 141~149℃ (20mmHg)	安定性	1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	3. 特記事項 ・ (水+被験物質)系、(汚泥+被験物質)系共にGCクロマトグラム上に被験物質以外のピークは認められず、DOC残留率と被験物質残留率はほぼ一致した。 ・ 逆転条件予備試験結果(4週間) (非CLP試験)																			
比重*1 d ₂₀ ²⁰ 1.0718																						
LD ₅₀ *3 1,250mg/kg(oral, rat)																						
IRチャートの有無 (有) ・ 無																						
用途*4 写真・複写機用添加剤																						
生産量*4 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満																						
試料 購入先 東京化成工業																						
経済産業公報発表年月日 年 月 日																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度 (%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOC</td> <td>98</td> <td>97</td> <td>100</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>GC</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> (培養期間 18.10.17~18.11.14)		分解度 (%)				1	2	3	平均	TOC	98	97	100	99	GC	100	100	100	100	
	分解度 (%)																					
	1	2	3	平均																		
TOC	98	97	100	99																		
GC	100	100	100	100																		

*1 東京化成工業添付資料による。

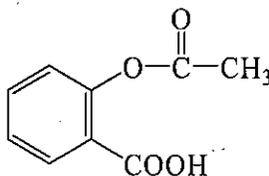
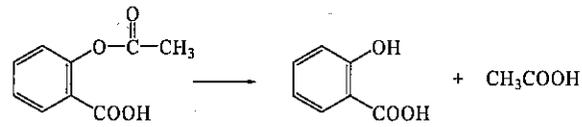
*2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine) (11/2002)による。

*3 東京化成工業 MSDS による。

*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

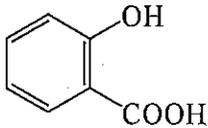
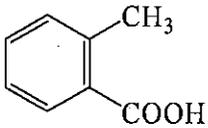
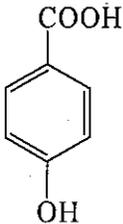
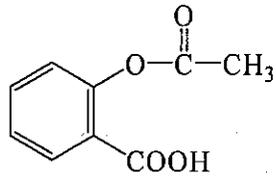
K-1783の類似物質表

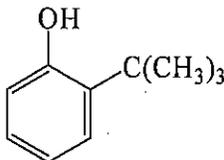
化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2-ブテン-1,4-ジオール (110-64-5)	HO-CH ₂ -CH=CH-CH ₂ -OH	9-1161 (K-1783)	標準(4W) 2007年実施 BOD 65, 55, 52 (57) TOC 85, 84, 71 (80) G C 86, 84, 71 (80) 逆転予備(4W) 2007年実施 TOC 98, 97, 100 (99) G C 100, 100, 100 (100)					
1,2-ブタンジオール (584-03-2)	$\begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{CH}_3\text{-CH}_2\text{-CH-CH}_2\text{-OH} \end{array}$	2-0235 (K-1071)	標準(4W) 1992年実施 BOD 91, 99, 99 (96) TOC 93, 93, 91 (92) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1992)	1992年実施 -0.34 (フラスコ振とう法)			
cis-3-ヘキセン-1-オール (928-96-1)	CH ₃ -CH ₂ -CH=CH-CH ₂ -CH ₂ -OH	2-2393 (K-1302)	標準(4W) 1998年実施 BOD 85, 89, 86 (87) TOC 97, 97, 97 (97) G C 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1998)				

整理番号 K-1784 (NEDO 356, 3-1652)	分解度試験	分解度試験	分解度試験	
o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日	
	試験期間 18. 9.28~18.12. 8	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .	
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₉ H ₈ O ₄ 分子量 180.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度	
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	
	試験結果 間接 BOD 88, 83, 88 (86)% 直接 TOC 99, 99, 94 (98)% HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	
純度*1 99.9% 外観 白色の結晶	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物*1 (物質名, 含有率) サリチル酸 0.1%以下 残りは不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 4600 mg/L (25°C) 対アセトニトリル 1 g/L 以上	判定	判定	
融点*2 135°C	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・開始時に pH 調整を行った。 ・(水+被験物質)系において、被験物質は全て加水分解した。  被験物質 サリチル酸 (官報公示整理番号(2)-1640) K-142, S50.12.15(19), 良分解 酢酸 (官報公示整理番号(2)-688) K-1101, H5.3.23(181), 良分解	判定	判定	
沸点*3 沸点以下 140°Cで分解する。		1-オクタノール/水分配係数		
密度*4 1.4 g/cm ³		安定性		
LD ₅₀ *5 200 mg/kg (ラット, 経口) 250 mg/kg (マウス, 経口)				
IRチャートの有無 (有) ・ 無				
用途*5 適用外 (医薬品等)				
生産量*5 (15年) 輸入 281 t				
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級				
経済産業公報発表年月日 年 月 日				

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。
*3 国際化学物質安全性カード (国立医薬品食品衛生研究所) による。 *4 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。 *5 化学工業日報社 14705 の化学商品による。

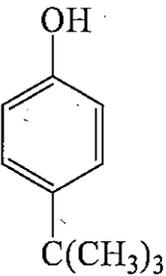
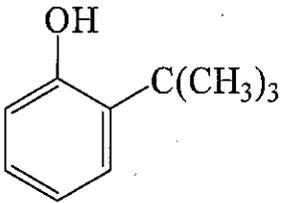
K-1784の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
サリチル酸 (69-72-7)		3-1640 (K-142)	標準(2W) 1975年実施 BOD 92, 85 (88) TOC 98, 97 (98) U V(295nm) 100, 100 (100) HPLC 100, 100 (100)	良分解性 (1975)				
o-メチル安息香酸 (118-90-1)		3-1285 (K-710)	標準(4W) 1984年実施 BOD 96, 91, 95 (94) TOC 94, 94, 97 (95) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1984)				
4-ヒドロキシ安息香酸 (99-96-7)		3-1640 (K-1321)	標準(2W) 1996年実施 BOD 90, 91, 88 (90) TOC 99, 100, 100 (100) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1996)	1997年実施 1.37 (フラスコ振とう法)			
o-アセトキシ安息香酸 (50-78-2)		3-1652 (K-1784)	標準(4W) 2006年実施 BOD 88, 83, 88 (86) TOC 99, 99, 94 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)					

整理番号 K-81C (NEDO 348, 3-0503)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
o-tert-ブチルフェノール (88-18-6)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 5.23~18. 8. 3	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₀ H ₁₄ O 分子量 150.22	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -3, -4, -4 (0)% 直接 TOC 35, 40, 25 (33)% HPLC 32, 39, 23 (31)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.9%(毛管カラムGC) 外観 黄色澄明の液体	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.01% 残り 0.09%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 700 mg/L(25°C) 対メタノール 10 g/L以上	判定	判定
融点*3 -7°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 3.74(pH4.0) (フラスコ振とう法による予備値)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 100%* (汚泥+被験物質)系 100%* ※試験液を直接分析機器に導入。	備考 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・被験物質の一部が試験液から炭酸ガス吸収剤に移行した。
沸点*3 224°C	安定性*4 光により変質する。	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	・(水+被験物質)系及び(汚泥+被験物質)系の試験液・炭酸ガス吸収剤のGC分析において、クロマトグラム上に変化物ピークは認められなかった。
密度*1 0.984g/cm ³ (20°C)	解離定数*2 pKa = 10.28		
LD50 440 mg/kg(oral, rat)	用途*5 添加剤 (樹脂用、紙用)		
IRチャートの有無 (有) ・ 無	生産量*5 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t未滿		
試験料 購入先 和光純薬工業 和光一級	経済産業公報発表年月日 年 月 日		

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。
*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。 *4 和光純薬工業 製品安全データシート (2006/4) による。
*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-81Cの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>p-tert</i> -ブチル フェノール (98-54-4)		3-0503 (K-81)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 5, 3 (4) G C 4, 1 (3) U V(273nm) 4, 4 (4) 逆転(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 2, 0 (1) G C 0, 0 (0) U V(274nm) 0, 0 (0)	難分解性 (1975)	1996年実施 3.29 (フラスコ振とう法)	4.0 (48hr)	1976年実施 1区(40mg/L): 20~43 2区(4mg/L): <48~88 脂質含有率 —	高濃縮性 ではない (1976)
<i>o-tert</i> -ブチル フェノール (88-18-6)		3-0503 (K-81C)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -4, -4 (0)* TOC 35, 40, 25 (33) HPLC 32, 39, 23 (31)		2007年実施 3.74 (フラスコ振とう法)			

* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

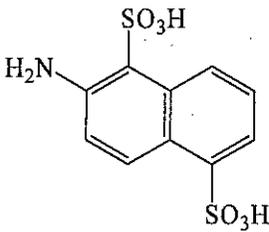
整理番号 K-762D (NEDO 353, 2-0133)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
(Z)-9-オクタデセン-1-アミン (112-90-3)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 18. 9. 14~18. 11. 28	試験期間	試験期間
	試験装置 (株)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{C}=\text{C}(\text{CH}_2)_8\text{NH}_2$ $\begin{array}{c} \text{H} \quad \quad \quad \text{H} \\ \quad \quad \quad \\ \text{C}=\text{C} \\ \quad \quad \quad \\ \text{H} \quad \quad \quad \text{H} \end{array}$ 分子式 C ₁₈ H ₃₇ N 分子量 267.49	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
試験結果	間接 BOD -3, -5, -5 (0)%	間接	間接
	直接 GC 7, 3, 7 (6)%	直接	直接
純度*1 82.9%	外観 無色透明の液体	審査部会 第66回	審査部会 第 回
不純物*1 (物質名, 含有率) ヘキサセニルアミン(2-0133) 4.5% ヘキサデシルアミン(2-0133) 3.7% ヘプタセニルアミン(2-0133) 1.7% オクタデシルアミン(2-0133) 6.3% 不明成分 0.9%	溶解度(対水, その他) 対水 10 mg/L 以下(25℃) 酢酸エチル 10 g/L 以上	19年 7月 27日開催	年 月 日開催
融点*2 14.9℃(凝固点として)	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.50*4	判定	判定
沸点*3 300℃以上		備考	備考
密度*3 790 kg/m ³ (60℃)	安定性	1. 回収率 (水+被験物質)系 99% (汚泥+被験物質)系 99%	
LD50			
IRチャートの有無 (有)・無		2. 実施機関 ・広栄テクノ株式会社	
用途 合成樹脂等			
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満		3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
試料*5 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 GC及びGC-MSによる。 *2 和光純薬工業製品安全データシートによる。 *3 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。 *4 Kowwin v 1.67による計算値。 *5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-762Dの類似物質表

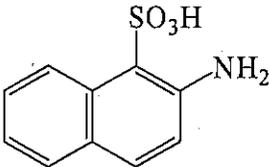
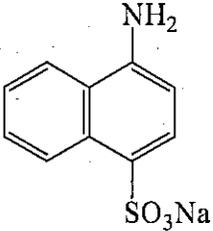
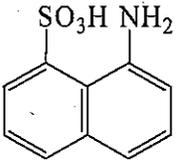
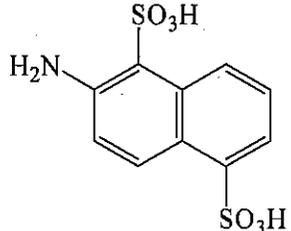
化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1-ペンチルアミン (110-58-7)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_4\text{NH}_2$	2-0133 (K-762A)	標準(3W) 1985年実施 BOD 72, 76, 76 (75) TOC 94, 97, 99 (97) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1985)				
(Z)-9-オクタデ セン-1-アミン (112-90-3)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{C}=\text{C}(\text{CH}_2)_8\text{NH}_2$ H H	2-0133 (K-762D)	標準(4W) 2006年実施 BOD -3, -5, -5 (0)* G C 7, 3, 7 (6)					
1-ノナデシルアミン (14130-05-3)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{17}\text{CH}_2\text{NH}_2$	2-0133 (K-762B)	標準(4W) 1986年実施 BOD 47, 76, 71 (65) TOC 96, 98, 99 (98) HPLC 95, 100, 100 (98)	良分解性 (1986)				

* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1782 (NEDO 351, 4-0501)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-アミノ-1,5-ナフタレンジルスルホン酸 (117-62-4)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 9.26~19. 2.28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₀ H ₉ NO ₆ S ₂ 分子量 303.31	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
間接 BOD -1, 4, -1 (1)% 直接 TOC 2, 8, 5 (5)% 直接 HPLC -1, -1, -1 (0)%	間接 直接	間接 直接	
純度 82.0% (HPLC 及びカール フィッシャー法による。)	外観 僅かに黄みを帯びた粉末		
不純物 (物質名, 含有率) アミノナフチルスルホン酸(置換位置不明) 8.8% 水 9.2%	溶解度 (対水, その他) 対水 20.9 g/L (25°C) (フラスコ法)	審査部会 第 66 回 19年 7月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 >300°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = -1.85*2 安定性	判定	判定
沸点 測定不可		備考	備考
密度 測定不可 (不純物を含むため)		1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	
LD50*1 5,430 mg/kg (oral, rat)		2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 Fluka Chemie GmbH			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

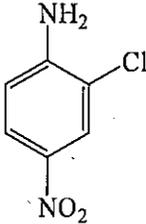
*1 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。 *2 Kowwin v 1.67による計算値。

K-1782の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2-ナフチルアミン スルホン酸 (81-16-3)		4-0493 (K-106)	標準(2W) 1975年実施 BOD 5, 3 (4) TOC 1, 1 (1) U V(280nm) 0, 0 (0) HPLC 6, 6 (6)	難分解性 (1975)	/	610 (48hr)	1976年実施 1区(5 mg/L) : <0.6 2区(0.5mg/L) : <6 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1976)
ナフチオン酸ナトリ ウム (130-13-2)		4-0492 (K-153)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 0, 0 (0) U V(320nm) 0, 1 (0)	難分解性 (1976)	/	4000 (48hr)	1978年実施 1区(10mg/L) : <0.6 2区(1mg/L) : <6 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1977)
5-アミノ-4-ナ フチルスルホン酸 (82-75-7)		4-0491 (K-273)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 4, 4 (4) U V(248nm) 8, 2 (5)	難分解性 (1977)	/	/	2-ナフチルアミンスル ホン酸及びナフチオン酸 ナトリウムより類推	高濃縮性 ではない (1977)
2-アミノ-1,5- ナフタレンジスルホン 酸 (117-62-4)		4-0501 (K-1782)	標準(4W) 2006年実施 BOD -1, 4, -1 (1) TOC 2, 8, 5 (5) HPLC -1, -1, -1 (0)*1		-1.85*2			

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67による計算値。

整理番号 K-246B (NEDO 354, 3-0407)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-クロロ-4-ニトロアニリン (121-87-9)	事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 6. 14~18. 8. 25	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₆ H ₅ ClN ₂ O ₂ 分子量 172.57	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -4, -5, -3 (0)% 直接 TOC 4, 3, 3 (3)% HPLC 1, 0, 1 (1)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.7% (毛管カラム GC) 外観 黄色粉末	溶解度*2 (対水, その他) 対水 0.23g/L (20℃)	審査部会 第66回 19年 7月27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.1% 残り 0.2%は不明	融点*1 106.7℃	判定	判定
沸点*2 320℃ (分解) (1013hPa)	密度*2 1.38g/cm ³ (20℃)	備考	備考
LD ₅₀ *3 6,430 mg/kg (ラット, 経口) 1,250 mg/kg (マウス, 経口)	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.9 (HPLC法)*4	1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100%	備考
IRチャートの有無 (有) ・ 無	解離定数*5 pKa = -0.94	※試験液を直接分析機器に導入。	
用途*6 アゾ系分散染料、顔料の中間体	生産量*7 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t未滿	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	
試料 購入先 和光純薬工業	経済産業公報発表年月日 年 月 日	3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。
*3 神奈川県環境科学センター化学物質安全情報提供システムによる。 *4 溶離液：メタノール/りん酸緩衝液 (pH8.0) (1/1 V/V) *5 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 *6 14705の化学商品 (化学工業日報社)による。 *7 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

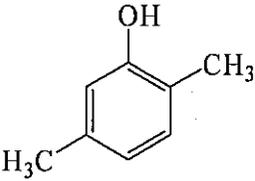
濃縮度試験 事業対象年度 平成18年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日	
試験期間 18.12.7 ~ 18.12.26					試験期間 ~						
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			依頼 経過	
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()						
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤				
第1濃度区					第1濃度区						
第2濃度区					第2濃度区						
第3濃度区					第3濃度区						
濃縮倍率	脂質含有率	開始前	終了後	% 魚種()	濃縮倍率	脂質含有率	開始前	終了後	% 魚種()		
	日後	日後	日後	日後		日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度()				第1	水槽濃度()					
	倍率					倍率					
第2	水槽濃度()				第2	水槽濃度()					
	倍率					倍率					
第3	水槽濃度()				第3	水槽濃度()					
	倍率					倍率					
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催						
判定結果					判定結果						
備考 分配係数から類推					備考						
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構											

K-246Bの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
4-クロロ-2-ニトロ アニリン (89-63-4)		3-0407 (K-246)	標準(2W) 1976年実施 BOD 0, 0, (0) TOC 0, 0, (0) G C 0, 0, (0)	難分解性 (1976)	/	17.4 (48hr)	1977年実施 1区(100µg/L): 7.5~13.2 2区(10µg/L): 8.0~13.4 脂質含有率 ー	高濃縮性 ではない (1977)
2-クロロ-4-ニトロ アニリン (121-87-9)		3-0407 (K-246B)	標準(4W) 2006年実施 BOD -4, -5, -3 (0)*1 TOC 4, 3, 3 (3) HPLC 1, 0, 1 (1)		2006年実施 1.9 (HPLC法)*2	/	分配係数から類推	
2,4-ジニトロアニ リン (97-02-9)		3-0403 (K-1176)	標準(4W) 1993年実施 BOD 0, 13, 0 (4) HPLC 7, 2, 0 (3)	難分解性 (1993)	1993年実施 1.88 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (1994)
6-クロロ-2,4- ジニトロアニリン (3531-19-9)		3-0422 (K-1313)	標準(4W) 1996年実施 BOD 0, 0, 1 (0) HPLC 2, 2, 1 (1)	難分解性 (1996)	1998年実施 不適切な程度に解離 〔フラスコ振とう 法による参考値 2.20〕	16.3 (48hr)	1998年実施 1区(100µg/L): 8.1~12 2区(10µg/L): 7.6~10 脂質含有率 3.7%	高濃縮性 ではない (1998)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 溶離液：メタノール/りん酸緩衝液(pH8.0) (1/1 V/V)

整理番号 K-1227D (NEDO 327, 3-0521)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2, 5-キシレノール (95-87-4)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 7.25~17. 9.29	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₁₀ O 分子量 122.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, -1, 0 (0)% 直接 TOC 2, 3, 1 (2)% HPLC 3, 2, 1 (2)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.5% 外観 白色微細結晶	審査部会 第49回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.1% 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 3540 mg/L (25°C)	判定 難分解性	判定
融点*1 75.3°C	1-オクタノール/水分分配係数 log Pow = 2.6 (HPLC法)*4	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※分解試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
沸点*2 211.5°C (762mmHg)	解離定数 pKa = 10.41*5		
比重*3 1.026 (20°C)			
LD50*2 444 mg/kg (oral, rat) 383 mg/kg (oral, mouse) 938 mg/kg (oral, rabbit)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*6 添加剤 (繊維用)			
生産量*6 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

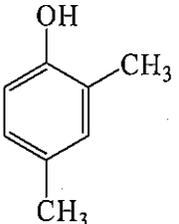
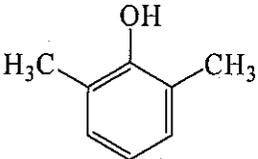
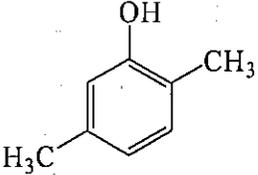
*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Hazardous Substances Data Bank (U.S. National Library of Medicine) (2/2003)による。 *3 有機化合物辞典 (講談社)による。
*4 溶離液: メタノール/りん酸緩衝液 (pH3.0) (6/4 V/V) *5 The Physical Properties Database (Syracuse Research Corporation)による。
*6 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度					平成18年度					濃縮度試験				
試験期間					18.1.1. 2 ~ 18.1.1. 14					試験期間					~				
試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()									
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率		開始前		終了後		% 魚種()		濃縮倍率		脂質含有率		開始前		終了後		% 魚種()	
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後			日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度 ()									第1	水槽濃度 ()								
	倍率										倍率								
第2	水槽濃度 ()									第2	水槽濃度 ()								
	倍率										倍率								
第3	水槽濃度 ()									第3	水槽濃度 ()								
	倍率										倍率								
審査部会 第66回 19年 7月 27日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果										判定結果									
備考										備考									
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験	
依	年月日
頼	

経過

K-1227Dの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,4-キシレノール (105-67-9)		3-0521 (1227C)	標準(4W) 2001年実施 BOD 98, 84, 91 (91) TOC 99, 98, 97 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (2001)	/	/	/	/
2,6-キシレノール (576-26-1)		3-0521 (1227B)	標準(4W) 2001年実施 BOD 4, 2, 0 (2) HPLC -1, 3, 1 (1)	難分解性 (2001)	2002年実施 2.33 (フラスコ振とう法)	/	分配係数から類推	高濃縮性 ではない (2002)
2,5-キシレノール (95-87-4)		3-0521 (1227D)	標準(4W) 2005年実施 BOD 0, -1, 0 (0) TOC 2, 3, 1 (2) HPLC 3, 2, 1 (2)	難分解性 (2005)	2006年実施 2.6 (HPLC法)	/	分配係数から類推	